社会福祉法人　ひまわり　広報部発行
杵築市　ひまわり　検　索
0978-52-2233　0978-66-5500
http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念

- 利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
- 地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基 本 方 針

- 利用者のあるがままの姿を受入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
- 利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
- 地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
- 社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの良い態度で接します
- 日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

平成２２年度第1回社会福祉法人ひまわり理事会

五月二十日、本年度第一回目の社会福祉法人ひまわり理事会が開催されました。第一号議案では、平成二十一年度決算報告ならびに監査報告、第二号議案で理事・監事任期満了に伴う審議、第三号議案では職務代理者及び会計責任者等の選任に伴う審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。

このうち、決算報告では前年度に比べ減収減益となり、今年度はより経費の削減を中心に利用者及び職員の処遇改善も行っていくという難しい課題と、慎重な運営を心がけていく説明がなされました。

また、利用者の介護認定が引き下げられる等の理由により収入自体も減少傾向にある旨の説明も行われました。

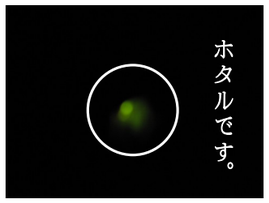
なお、平成二十一年度の決算報告ならびに平成二十二年度事業計画は五月二十五日にホームページ上で公開しています。

【ホタル鑑賞】

瑞雲荘

6月8日

梅雨入り前の少し蒸し暑い夜にホタル鑑賞に出かけました。夜間のお出掛けは滅多にない事もあり、車中では利用者皆様ドキドキワクワクされている様子でした、いよいよホタルの名所である田染荘に到着し、エンジンを止め、ライトを消すと、雑音も無くお隣の方の息遣いしか聞こえない真っ暗闇、そこはホタルの灯りに照らされた別世界でした。皆様大変喜ばれ口々に「すごい！立派なホタルやなあ」「まあ、きれい、生まれた里を思い出します。」と喜びの言葉があり、更に「ホォ、ホォ、ホータル来い」と皆様で大合唱が起こりました。私自身ここまで喜んでいただけるとは思っておらず、嬉しい誤算でした。



御家族並びに関係者様へのお願い

先日、大分県で「食中毒注意報第１号」が発令されました。毎年の事ながら、また食中毒のシーズンの到来かと気持ちが沈みます。食中毒を起こさないように、職員全員で予防の徹底をしている所です。

ご面会に来られる皆様のご協力も不可欠となります。ご面会の際、入所者様への差し入れとして食べ物を持ち込まれる方も居られます。持ち込まれる際は、必ず職員にお声掛けをお願い致します。季節柄、持ち込まれた食べものは当日、その場で消費できる量等の配慮を併せて宜しくお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム瑞雲荘
施設長　利光和彦

瑞雲荘利用者様の作品「紫陽花」

第 38 号　社会福祉法人ひまわり　広報誌　－ひまわり－　平成22年　6月20日

訪看つうしん

きつき訪問看護ステーション

長生きの秘訣は和食

梅雨にはいり綺麗なあじさいの花をみかけました。日本人の平均寿命は、以前から世界一といわれています。なぜそうなのか、長生きの秘訣を探ってみましょう。これは、日本人が昔から慣れ親しんできた和食の文化です、ただ、現代人が考慮すべき点が三つあります。第一は野菜と果物を食べる習慣が薄れてきたことです。葉物野菜は一日みそ汁碗大の器で五杯以上果物は種類は問いませんがリンゴなら一日に中玉一個以上、オレンジで一個以上、バナナは一本以上などと覚えておけばいいでしょう。第二は塩分が多すぎること平均一日十一～十二グラムになっています。食事の際、しょうゆ、ソース、マヨネーズなどを無意識に使う習慣を改めましょう。めん類を食べるときは、汁を全部飲まないことです。第三は炭水化物の食べ方が変化してきたことです。煮込んだ料理、レトルト食品、パン、菓子などは血糖値が上がりやすく、肥満や糖尿病を促進するという科学的な証拠があります。「手軽さ」「グルメ志向」で前者が多くなっているのが気になります。これら三点に注意して、和食をベースに時々肉類も食べるようにすれば理想的な栄養バランスになります。三食をいつも同じ時刻に取ることも大切です。体内には食事のリズムを記憶する仕組みがあります、それにあわせることで血液中の栄養分もほどほどに保たれます。

「長寿の秘訣は和食にあり」といってよいでしょう。

生活相談員日記

生活相談員　重松賢一郎

ある利用者様との間で起こった出来事でした。いつもはゆっくりと話を伺うのですが、多忙な時期であったこともあり、中々腰を据えて話を聴く事ができない日々が続きました。その方から「私の事を避けているのでは？いつも話をしてくれていたのに…。」というお言葉を頂きました。表情は険しく不快感をあらわにされていました。決して避けている訳ではありませんでしたが、バタバタと忙しく走り回っている姿を見せてしまっていたし、態度に出てしまっていたのかも知れません。大いに反省しお詫びを言いました。よく対人関係は「鏡」だと言われます。自分の姿が相手に映り、相手も自分の姿を見て応えてくれます。自分も相手の姿を見て応えます。それは、言葉という領域を超えて全てに言える事ではないでしょうか。それを忙しさにかまけて忘れていたのです。自分を通して相手に伝わり、相手を通して自分に伝わる「通じ合う気持ち」。大切にできる専門職でありたいと思う今日この頃。

【父の日といえば】

瑞雲荘　上杉紗世

父の日に因んで私の父について書かせていただきます。

思えば私が介護の道に進んだきっかけは自分の事は後回しにし、いつも家族のために命がけで仕事をしてくれる父の影響からでした。私が小学生の頃、祖母が体調を崩し、入院しているときに献身的に介護をしている父の姿を見て私は、「将来は父のように誰かの為に献身的になれる仕事をしたい。」と強く思いました。今でもそんな父が私の自慢であり目標でもあります。

編集後記

四年に一度のワールドカップで日本中が沸いておりますが、やはり私はプロ野球派でございます。特に広島東洋カープの大ファンであり、試合観戦の為にケーブルテレビを契約し、休日にはメガホンを持ちブラウン管に釘付けでございます。カープの魅力といえば、なんといってもハラハラさせるどころかイライラさせてくれる試合展開です。代表として挙げられるのが「僅かに追い着かない程度の反撃」と「永川劇場」でございます。前者は文字通り、先発ピッチャーが崩れ、序盤に大量失点、今日も駄目かな？と思っていると、僅差まで詰め寄る反撃をし、ワクワクさせておきながら決して追い着き追い越すことのない、負けパターンです。後者はカープのストッパー永川投手が９回セーブがつく場面で登板し、フォアボールでランナーを出し、さらにワイルドピッチでランナーが２塁まで進み、一打同点・逆転の場面をわざわざ作り出しベンチやファンをドギマギさせるパターンでございます。何はともあれ愛おしいカープです。

高尾

毎月二〇日発行　編集責任者　社会福祉法人ひまわり　高尾毅一

きつきの里 デイサービスセンター

じめじめとした梅雨に入りました。昼夜の寒暖差があり体調を崩しやすい季節ですが、体調管理に留意して過ごしましょう。さて、あちらこちらの路並みであじさいの色が鮮やかに見かけられています。きつきの里デイサービスセンターでも皆様とあじさいを見に出掛けたいなと思っています。

【杵築ボランティア来所】　6月12日

歌や踊りにフラダンスとバラエティに富んだ出し物で楽しませてくださいました。歌の方では唱歌・童謡といった昔懐かしいものも聴かれ、利用者の方々も一緒に口ずさまれたり、手拍子をされたりして和やかなひと時を過ごされました。杵築ボランティアの皆様ありがとうございました。

【厨房便り】

今月は厨房さん手作りのおやつバイキングがテーブルを賑わせています。大きなお皿に盛られた小ぶりのあんまんじゅうやお餅、ケーキなどに加え別鉢にゼリーや水羊羹などの、のど越しの良い、涼しげなおやつに利用者の皆様から「わぁ、おいしそう」「いっぱいあって晩御飯食べられなくなりそう」と歓喜の声が上がっていました。

三楽園 デイサービスセンター

☆今月の行事予定☆

菖蒲見学・紫陽花ドライブ・父の日プレゼント配布

【フラダンス】　5月21日

プアドリーム・フラ（グループ名）の方々が、フラダンスを披露してくれました。利用者の方々も日頃見ることが少ないフラダンスに、とても見入っておられたのが印象的でした。プアドリーム・フラの皆様ありがとうございました。

【鯉のぼり見学】　5月3日

利用者様からの感想　藤原　ユリコ様

鯉のぼりを見に行くのは、何回行っもいいもんやなぁ～！毎年な、行くけんなぁ・・・有難うございました。と笑いながら言ってくれたのが印象的でした。

【貼り絵作成】

季節も移り変わり、野山では色々な花が咲き誇る中、三楽園でも花を咲かせようと壁紙作りに励みました。花びらの部分は折り紙を折り、1枚1枚丁寧に作りました。

葉や茎は利用者様に絵の具で描いていただきました。いよいよ完成、色とりどりの花しょうぶが三楽園にも咲き誇り、利用者様からも職員からも「わぁ、いいなぁ」との声が上がっていました。

「花しょうぶ」
作成　三楽園御利用者様

第 38 号　社会福祉法人ひまわり　広報誌　－ひまわり－　平成22年　6月20日

利用者様のお声

デイサービスでの日常の中にあるご利用者様方の印象深いお声を掲載します。

きつきの里 デイサービスセンター編

利用者Nさんから、「あんた、顔が変わったなぁ」と言われました。利用者様のあまりの笑顔に、これは褒められると確信した私は、「どこが変わりました？」と聞くと、

「（顔に）空気を入れたんかい？」

と言われ、大爆笑でした（泣）

利用者Hさんの朝一番のご挨拶は「今日はひまわりは何のごっそう（ご馳走）かい？牛（牛肉）かい？？」から始まります。「今日は海のお肉です」と言うと「くぁ～」と言いながらの苦笑いがとてもいいです（笑）そして、

「海のお肉じゃ力が出らん」と、リハビリを途中でやめようとします。

Tさんが具合が悪そうだったので「大丈夫ですか？」と声をかけると、

「あんたこそ大丈夫かい？」

とおしゃりながら、優しく抱きしめてくれました。

Tさんを送迎中、突然「あんたは高校生かい？」と聞かれ「わ～Tさん、私がそげぇ若こうみえるかい？高校生なら車運転できんわ～」と答えると「じゃあ20いくつかい？」と言われ「嬉しいわぁ♪」と言うと

「そ～かい！ほんならいい化粧しち若こう見せんとなぁ」

と言われました。

Eさんに「Eさんとこのお嫁さんは優しいなぁ」と話しかけると、

「じゃあ！うちの嫁さんはようしちくるる。感謝しちょる。いい家庭は嫁さん次第じゃからな」

と、満面の笑みでおっしゃっておりました。

Hさんより「失礼なことを聞きますが、平成生まれですか？」と言われ、ふと視線を感じ振り返ると、後ろでTさんが笑っていました。「まさかぁ～昭和の中ごろです」と答えると、さらにTさんが

「中ごろか・・・？」

とつぶやきながら笑っていました。

Kさんのお風呂での一言

「よかよ～サイコ～♪」

Kさん（女性）の熱い想い

「じいちゃんはず～っと隣ん女性が好きやったんじゃ。やきもち妬くんはみっともねぇ～じゃろがい、でもな、心から火が出るごと口惜しかったんで！」

七夕飾りを作っていたKさん（女性）の短冊には

「じいちゃん元気かえ？」

と書かれていました。

Fさんの名言

「人生死ぬまで勉強よ！」

絵手紙
作成　三楽園御利用者　荒木弘子様